

66 郷土の芸能文化を次世代に

【き】 郷土の芸能文化を生かした地域づくり

都市化が進む尼崎市北部では、地域の連帯感や住民同士の人間関係が希薄です。地域に伝承されている「麦わら音頭」を復活させ、それを生かして地域の人たちの交流と信頼関係の構築を進めたいと思い、平成10年10月から取り組みを始めました。

【概】 踊りを広めることによって進める子どもたちの「ふるさと」づくり

小学校の体育大会プログラムで児童に踊りを指導したり、幼稚園のおまつりに参加して子どもたちやお母さんたちに踊りを教えたり、盆踊り大会を開催したりと、三味線、太鼓、唄も披露しながら楽しく「麦わら音頭」を広めています。

これらの活動を通じて、子どもたちが地域に「ふるさと」を感じてくれるようになればと思っています。

【成】 地域住民の出会いの場づくりがコミュニティづくりに役立つ

活動を通じて「麦わら音頭」に地域の人たちの関心が集まっただけでなく、地域住民の会える場所づくりができました。また、子どもを通じて、親たちや、子どもの健やかな成長を願う大人たちの交流が生まれました。

おどり好きの年配者がお孫さんを連れて盆踊りに参加する光景も見られ、「ゆかたを着て出かける場所をつくってくれてありがとう」と喜んでくれています。

【夢】 文化伝承を通じたコミュニティづくりをしたい

おどりの輪をもっと広げるとともに、高齢者から子どもたちへ文化を伝承する中で、地域の人たちがみんなで地域の子どもたちを見守るようなコミュニティをつくりたいと思っています。



麦わら音頭の練習風景

富松ちよっと会

代表者氏名：樋口三好
活動地域：尼崎市全域
事務所等：尼崎市富松町2丁目2-21
トマツ飯店内
電話番号：06-6423-0053

とも
に
取
り
組
ん
だ
団
体
等

尼崎北小学校

小学校から、総合的学習の観点から体育大会プログラムで麦わら音頭を踊りたいと依頼がありました。

尼崎北小学校PTA

「地域の子どもを地域で育てる」をテーマに企画された、夏の盆踊りに参画し、私たちが子どもたちに踊り指導を行いました。



話し合いの場を大切に

月に一度の練習日を大切に、常にみんなが話し合える場にはしています。ただ練習するためだけに集まるのではなく、反省会や雑談の時間を必ず設けることを心がけています。そうすることによってメンバーのことがよく分かりますし、その人の良さを引き出すにはどうすれば良いのかが見えてきます。



Eメールを活用して連絡を徹底

会議やけいこの案内通知の連絡は、漏れないように気を付けています。連絡網を作成し、Eメールを活用するなど、正確に早く通知できるようにしています。

連絡漏れなどは、悪気がなくてもトラブルのもとになったりするので、気を付けなくてはなりません。



小学生たちの麦わら音頭

求ム!

余っている三味線があれば、ご寄付ください。
よろしく申し上げます。



三味線の演奏

読者の皆さんへのメッセージ

「麦わら音頭」は、県の無形文化財に指定され、伊丹市南野地区で行われています。同音頭は、伊丹-尼崎北部に伝えられた伝承踊りです。これを富松に復活させた私たちの活動が、コミュニティづくりをより活性化させることを願い、この大切な文化を伝承し、広めていきたいと思っています。皆さんのお住まいの地域にも、埋もれている芸能文化はありませんか？ぜひ、復活させて紹介してください。